



**原子力発電所を見学して** 王子製紙(株)抄造部副長 平野 史朗

三月十五日(日曜日)、中国電力(株)のご厚意により、島根原子力発電所を見学する機会を得た。当日、小雨の中、私たち王子製紙(株)のバス一台を含む、二台のバスにて米子を出発し、おおよそ一時間三〇分、鹿島町の島根原子力発電所に到着した。周辺には運動公園、グランド、テニスコート、ゴルフ練習場、子どもの遊具などがあり、大人から子どもまで楽しめる場所となっている。はじめに併設されている、島根原子力館内の多目的映像ホールにて、原子力発電の必要性・徹底した安全性・環境保全および、仕組みについて説明を受けた。万一にもならない事故に対し一重・三重どころではなく、四重・五重の安全対策が施されており、環境保全が確保できる万全の体制で運転していることがよく理解できた。また、昨今CO2削減が叫ばれる中、原子力発電は、クリーンなエネルギーで資源を持たない日本には、必要なエネルギーであると感じた。その後、原子力館内の一階を見学し、原子炉の実物大模型、水の役割など見ながらさらに、原子力発電について知識を深めることができた。二階は、映像を使ったゲームなどがあり、子どもも楽しめる場となっている。また、あいにくの天気ではあったが、展望コーナーからは、日本海の眺めを楽しめた。余談になるが、この原子力館は、一九八八年三月に開館し、丁度一〇周年を迎え、新しいマスコットを募集しており、当日は、その選考日であった。その後、バスにて、原子力発電所へと向かった。入口は門で閉ざされ、認証カードを持たない部外者は、入所できない仕組みとなっていた。所内には、運転等に携わる発電所社員約四〇〇人の他、メンテナンスに携わる約三〇〇人が常駐し、二四時間体制をとっていることであった。所内建物に入り、

はじめに、中央制御室を見学した。室内は、一、二号両機の制御パネルおよび制御盤が同じレイアウトで設置されており、誤操作が起きない仕組みとなっていた。制御室を後にし、いよいよ原子炉建物内に入るようになった。建物内に入る前に、白衣を纏い、手袋をはめ、靴を履き替え、帽子をかぶり、代表者は、見学中の被爆量を測定する検知器を身につけた。この格好で、二重扉を抜け、原子炉建物内を一階から五階の原子炉の真上まで見学した。建物内は、整然としていて、ここに原子炉があり、蒸気が作られているような感じがしなかった。原子炉の真上は、広々としており、燃料プールと呼ばれる底まで透き通ってよく見えるきれいな水を張った格納室をみることで、最後に、実際に電気を起こす、タービンを見学し、また二重扉を抜け、被爆していない事を確認し、建物を出た。見学者に対しても、万全の安全策をとっていることが、うかがえた。とても有意義な時を過ごすことができ、末尾で失礼ではありますが、休日を返上して、説明および案内をしてくださった中国電力(株)の方々にお礼申し上げます。

**水鳥公園清掃美化ボランティア活動に参加して** 協同組合丸合理事 浜田 国秀

一月二四日米子地区環境問題を考える企業懇話会主催の水鳥公園の一斉清掃に参加しました。

当日、行政や一般企業から多くの方々が参加しておられ、指定の駐車場が満車状態になり驚くと同時に、ある企業さんはお揃いのユニホームで多数の方が参加しておられ、その企業の環境問題に対する意識の高さをつくづくと感じることが出来ました。

当日は水鳥公園方面と粟島神社方面の二手に別れての清掃作業になりました。私は水鳥公園方面が割り当て区域になりました。結果的にはこちらの方面は日頃管理が行き届いている為、ほとんどゴミらしき物は見当たらない程でしたが、それでも風に飛ばされた菓子の袋や小さなビニール袋、紙片が石の間に入り込んでいたりしていました。私は夢中でゴミを探すと、侵入禁止の区域に入り込んで、担当の方から叱られる等の無知故の失敗を犯してしまいました。そうは言っても多数の方が少しずつでもゴミを集められても、集まってみると大変な量になります。特に粟島方面の清掃作業をされた方々からは、空き缶の収集が多く私が予想していた

通りの結果でした。特に空き缶を道路端に放置するケースが大変多く見られます。昨年皆生通りの清掃ボランティアに参加した時も、道路沿いの植え込みの中に空き缶が多数入れ込んであり、マナーの悪さが目立ちました。空き缶を捨て禁止を積極的に推進しなければならぬと痛感しています。この日は少しでも世の中に役に立たず、そんな心地よい一日にもなりました。

**水鳥公園清掃ボランティアに参加して** 境港一中学校 浜中あゆみ (堀田石油(株) 浜中 邦夫氏の娘さん)

私は、お父さんと弟と妹で清掃ボランティアに参加しました。参加したいと思った理由は、動物や鳥が好きだし、去年の夏休みに、夢みなと博のボランティアに友達と参加してお客さんに「ありがとう。」「がんばってください。」「がんばってください。」などたくさん声をかけてもらってうれしかったので、水鳥公園もきれいにしたい、水鳥公園もきれいにして、

鳥たちが「ありがとう。」とか「来年も必ずもどってくるよ。」と思ってもらえるといいなと考えたからです。清掃をしてみても、ゴミは思ったより少なく、よかったです。テレビで人間がすたゴミなどで鳥たちがげがをしているのを見たことがあります。あんなことがおこらないように、これからみんながゴミをすてないよううに気をつけたいと思います。

そうしたら人も鳥も気持ちよく生活できると思います。ゴミをひろって帰ったあとで、公園の鳥たちはきつとみんなに「ありがとう。」と言っていたと思います。

私は、これからもたくさんボランティアに参加してみたいと思っています。

**米子水鳥公園美化清掃活動に参加して** NTT米子支店 頼田規和美

NTT米子支店では、グランドワーク活動の一環として「春、秋の大山クリーン作戦」につき「米子水鳥公園の一斉清掃」にも参加いたしました。

当日、秋晴れの空のもと、社員、家族約五〇名がおそろいのスタッフジャンパーに身をつつみ、三、四人が一グループになり公園内を清掃いたしました。

公園内の管理が行き届いていたのか想像していたほどのゴミはありませんでしたが、あわただしく毎日



**講演会セミナー** J-T米子工場総務課 山田 哲

講演会も中盤に入り、各地の活動実践を聞くうちやっと活動の内容がわかってきた。グランドワーク活動とは、住民・行政・企業の三者の協力システムによって地域の環境整備や改善のためのアイデアを出し、専門家達を加えてまとめあげ、汗を流し実行することである。原点は自分の住んでいる場所を良くし、やったことが自分のためになり、自分の地域を美しくすることで、決して人のためにする者ではないということだ。

実践例の中で米子市も紹介された。王子製紙が始めた社員食堂の割り箸を回収しリサイクルする活動や廃油のリサイクル運動が、皆生温泉の旅館組合の賛同を得て地域に広がり、発展していることだ。ゴミの減量化と資源の有効利用を合わせもったすばらしい活動である。

ゴミといえば富士山の話があった。昔の登山者はゴミ等すべて持ち帰って富士山を守ろうとしたが、今はゴミ、糞、産業廃棄物まで放置されているとのこと。日本人は環境に対して無知すぎるという内容だ。地球規模の

環境問題が叫ばれている昨今、一人一人のモラルの高揚が必要不可欠となっている。

J-T米子工場では、企業懇話会の環境美化活動への参加、大山一斉清掃参加、J-T独自の駅前清掃等社員へ呼びかけを行い、環境美化活動に取り組んでいる所であり、今後も会社企画の参加にとどまらず地域活動へも積極的に取り組む様、社員のモラルの向上に続けて行きたい。

**【幹事】** 王子製紙(株)米子工場 (株)高島屋米子店 中国電力(株)米子営業所 永瀬石油(株) ナショナルマイクローモーター(株) 日本たばこ産業(株)米子工場 日本通運(株)米子支店 堀田石油(株) (株)マイカルサンイン

**【会員企業】** (株)山陰合同銀行米子支店 鳥取銀行西部本部 日本電信電話(株)米子支店 (株)原徳チェーン (協)丸合 (協)やよいデパート 米子しんまち天満屋 米子信用金庫 (株)米子富士通

**企業懇話会委員募集のお知らせ** 私達企業懇話会は、新しい会員を随時募集しています。

●現在、米子地区に事業所があつて環境保護に取り組んでおられるか、今後環境保護運動に取り組みたいとお考えの企業または組合でしたら、どなたでも入会していただけます。

●企業の規模、人員には規制がありません。

〈事務局〉 千六九二五四五 米子市吉岡三七三番地 王子製紙株式会社米子工場環境管理室 上級技師 向井哲朗まで 電話 〇八五九二一七九八六 FAX 〇八五九二一七九九〇

